

ハンセン病のこと、もっと知ろうよ ～入所者から学ぶ人権～

長島愛生園を貸切バスで訪問、入所者のお話を聴きます

昨年11月、国立療養所長島愛生園内に体験型展示施設「でんしょう愛生館」がオープンしました。ハンセン病への差別と偏見の歴史を、教訓として後世に語り伝えるためにできた施設です。入所者の高齢化に伴って、語り部は減り続け、愛生園ではただ一人となりました。そのお一人にお話を伺います。

また、愛生園の園内には、人権侵害の実態を物語る施設跡がたくさん残っています。家族と離別させられた収容棧橋、クレゾールの入った消毒風呂があった収容所、園から逃走した入所者を閉じ込めた監房跡などです。

学芸員とともに、でんしょう愛生館や園内も見学します。人権とは何か、人権を守るために私たちはどうすればいいか、ご一緒に考えてみませんか。

日 時 7月30日(木) 午前8時、岡山県青年館集合
午前8時20分、バスで長島愛生園へ出発

10時～歴史館、11時～園内見学、12時～でんしょう館、1時～昼食、2時～入所者講話

午後3時半、長島愛生園出発

午後4時半、岡山県青年館帰着

場 所 国立療養所長島愛生園(瀬戸内市邑久町虫明6539番地)

講 師 長島愛生園入所者自治会長 中尾 伸治さん

参加費 1500円(バス代500円、昼食代1000円=園内のさざなみハウス喫茶)

定 員 中学生以上25人

申し込み 6月2日(火) 9時半より北公民館窓口または電話で受け付けます。問い合わせは、北公民館(TEL086-254-4633)まで。

----- 切り取り -----

令和8年度北公民館主催講座「ハンセン病のこと、もっと知ろうよ」(No.)

名前	(中学校 年 大人)
住所	
電話番号	